

2018年11月21日

これまでに冠動脈バイパス術の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データ/検体（血液、尿）の調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院心臓血管外科では「人工心肺使用心拍動下冠動脈バイパス術の術後早期腎機能に与える影響に関する検討」という臨床研究を行っております。この研究は、人工心肺の使用が腎臓に与える影響を調べることを主な目的としています。そのため、過去に冠動脈バイパス術の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データ/検体（血液、尿）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 西暦2018年11月21日 ~ 西暦2020年12月31日まで

対象調査期間 : 西暦2005年4月1日 ~ 西暦2017年12月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに冠動脈バイパス術の治療を受けた患者さんのカルテ、検体（血液、尿）です。
- 過去のデータ/検体（血液、尿）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することをし、個人情報に関連する事項全てを保護します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は松山赤十字病院に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、松山赤十字病院心臓血管外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 心臓血管外科 診療副部長

研究責任者：神尾明君

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)